



平成28年6月8日（水）
利根川水系渇水対策連絡協議会
（事務局：関東地方整備局）

記者発表資料

平成28年度
第2回利根川水系渇水対策連絡協議会
幹事会（臨時）の開催結果について

1 開催状況

日時：平成28年6月7日（火） 14:00～

場所：さいたま新都心合同庁舎2号館5階 共用大会議室501

協議会構成：国土交通省関東地方整備局、経済産業省関東経済産業局、
農林水産省関東農政局、東京都、千葉県、埼玉県、茨城県、
群馬県、栃木県及び独立行政法人水資源機構

協議会の目的：利根川水系の渇水時における円滑な水需給の調整を図る。

2 開催結果

別紙のとおり

発表記者クラブ

埼玉県政記者クラブ、竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会、
東京都庁記者クラブ、千葉県政記者会、茨城県政記者クラブ、
栃木県政記者クラブ、刀水クラブ・テレビ記者会、水資源記者クラブ

問い合わせ先

国土交通省 関東地方整備局 河川部 河川環境課 河川環境課長 建設専門官 水政課 水政調整官 水政課長 課長補佐	河川部 伊藤 和彦（内線）3651 斎藤 充則（内線）3652 おおた ひろのり 太田 浩徳（内線）3515 石田 武史（内線）3551 山本 典（内線）3557	住所 〒330-9724 埼玉県さいたま市中央区新都心2-1 さいたま新都心合同庁舎2号館 電話 （代表） 048-601-3151
--	---	---

現状と今後の対応

(1) 現状

- ・ 冬期の降雪は、利根川の水利用に欠かせない重要な水資源ですが、平成 27 年度は記録的な少雪となり、昭和 29 年から観測している尾瀬沼観測所の最大積雪深は 172 cm で、平均 289 cm の 60% しかなく、62 ヶ年の観測史上最低でした。
- ・ 春先の雪どけ水を誘発する降雨が少なく、5 月の月間雨量は 56 mm で、平均 118 mm の 48% しかなく、昭和 23 年の観測開始以降 6 番目に少ない状況でした。
- ・ 少雪、少雨によりダムに流れ込む流量が少ないため、下流の水利用に必要な水量をダムから放流した結果、7 日 0 時現在の貯水量は 2 億 2, 562 万 m³、貯水率 4.9% で 8 ダム体制となった平成 4 年以降の同日貯水量の平均に対して 5.7% です。これは、同日の貯水量では、25 ヶ年で過去最低です。

(2) 今後の見通し

- ・ 気象庁発表の気象情報（1 ヶ月予報）によると、「少ない」または「平年並」となっています。また、6 月 3 日発表の「少雨に関する関東甲信地方気象情報」によると今後 2 週間程度も、まとまった雨の降る可能性は小さいとなっています。
- ・ 農業用水や都市用水の水利用の需要期を迎えるため、河川からの取水量が増加することが予想されます。
- ・ 今後、河川の流量が減少した場合、ダムに貯留した水を農業用水や都市用水等のために補給する量を増加する必要が生じ、ダムの貯水量の減少が加速することが予想されます。

(3) 今後の対応

- ・ 利根川、鬼怒川上流ダム群とも少雪、少雨の影響を受け、現在の貯水量は非常に厳しい状況であることを確認しました。今後も、水利使用に係わる施設についてきめ細やかな運用を行っていきます。
- ・ 今後、利根川及び鬼怒川ダム群の貯水量が増加するような降雨が無い場合には、早ければ来週に利根川水系渇水対策連絡協議会を開催し、10%の取水制限の実施について協議することを確認しました。（なお、開催日時、場所については、事務局よりあらためて連絡、公表します）
- ・ 利根川の水に係る様々な利用者に対して、節水への取り組みを促すために幅広い広報活動を実施することとします。

利根川上流ダム群等の現状と今後の見通しについて



矢木沢ダム上流部（平成28年6月7日撮影）

平成28年6月7日

関東地方整備局

1. 利根川上流8ダム等の現状

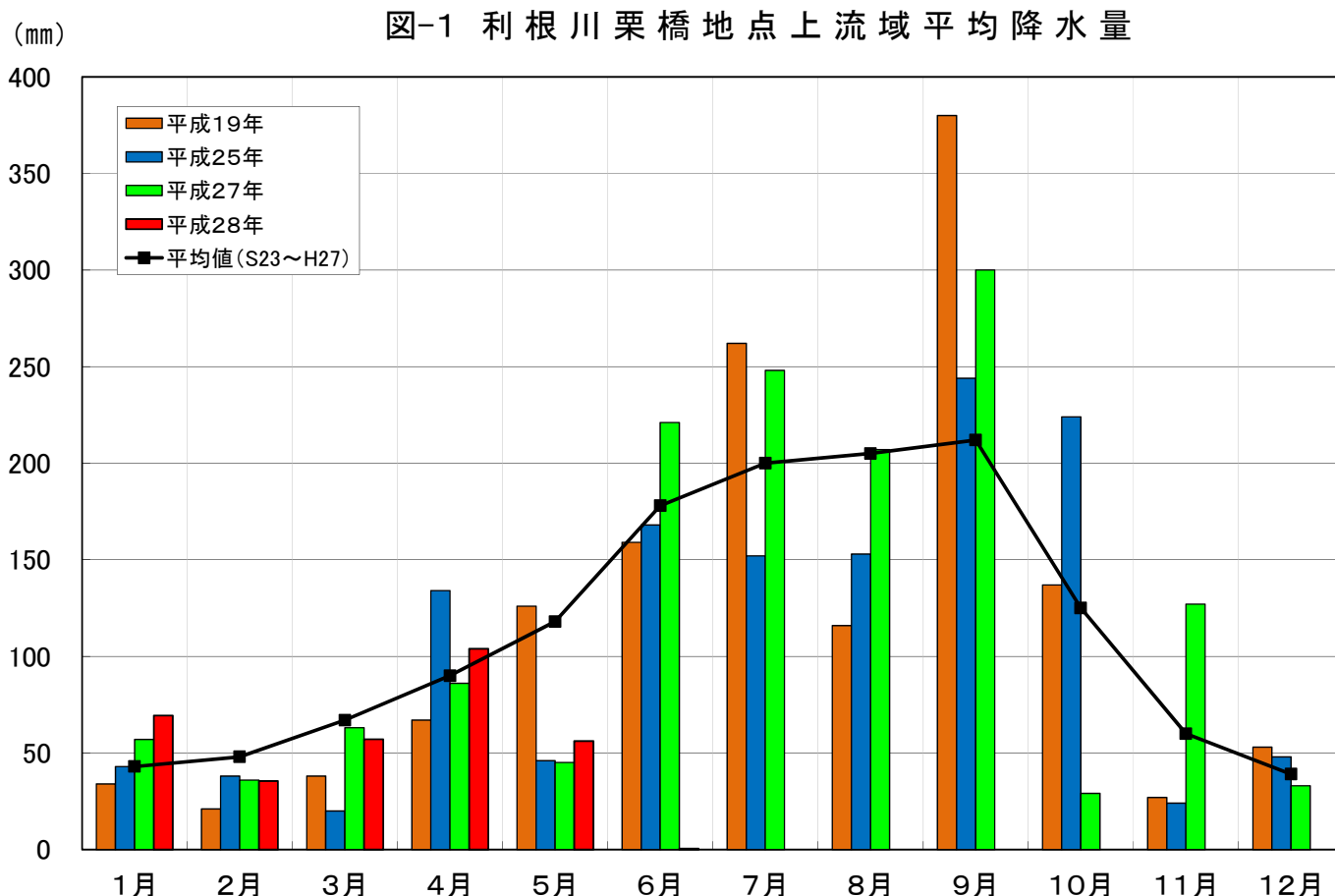
1) 利根川

(1) 栗橋地点上流域平均降水量の状況（平成28年6月6日までの降水量）

5月の降水量は、56mm（平均値に対する割合48%。過去6番目に少ない値）となっています。

6月の降水量は、6日までの累加で1mmとなっています。（6月の降水量の平均値は178mm）

（図－1、表－1）



表－1 利根川栗橋地点上流域平均降水量（平成28年6月6日まで）

単位 (mm)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	摘 要
昭和62年	22	33	62	14	89	91	204	186	252	73	39	26	1,091	利根川夏渇水
平成2年	31	66	71	119	58	74	118	193	326	143	183	31	1,413	"
平成6年	27	50	52	23	139	107	104	153	346	87	26	29	1,143	"
平成8年	26	35	68	47	98	117	155	78	217	80	55	23	999	利根川冬夏渇水
平成9年	33	33	59	74	179	173	170	167	206	14	94	20	1,222	利根川冬渇水
平成13年	79	35	75	23	136	176	116	366	321	173	46	23	1,569	利根川夏渇水
平成19年	34	21	38	67	126	159	262	116	380	137	27	53	1,420	(少雪年)
平成24年	43	57	115	98	206	192	190	87	221	85	55	47	1,395	利根川夏渇水
平成25年	43	38	20	134	46	168	152	153	244	224	24	48	1,294	"
平成27年	57	36	63	86	45	221	248	207	300	29	127	33	1,452	
平均値 (S23~H27)	43	48	67	90	118	178	200	205	212	125	60	39	1,385	
平成28年	69	36	57	104	56	1							322	
平均値に対する割合 (%)	161	74	85	115	48	1							23	

※: 利根川取水制限実施月（一時緩和含む）

※: 栗橋上流域面積 8,588km²

(2) 利根川上流8ダムの貯水状況等（平成28年6月7日0時現在）

利根川上流8ダムのうち、5ダム（矢木沢ダム、奈良俣ダム、藤原ダム、相俣ダム、藺原ダム）が、4月20日0時に満水となりました。その後、尾瀬沼の積雪観測所では平均に比べ1ヶ月早い消雪となり、更に5月中旬以降の降水量の少ない状態が続き、河川の流量が減少したため、都市用水や農業用水の需要を確保するためにダムに貯留した水を補給し、貯水量が低下してきています。

6月7日0時の貯水量は2億2,562万m³であり、貯水率は49%、平均値に対する割合は57%となっています。

なお、貯水量は、過去25年間（奈良俣ダムが運用を開始した平成4年以降）の同日の値と比べて、過去最低なっています。（表－2、図－2）

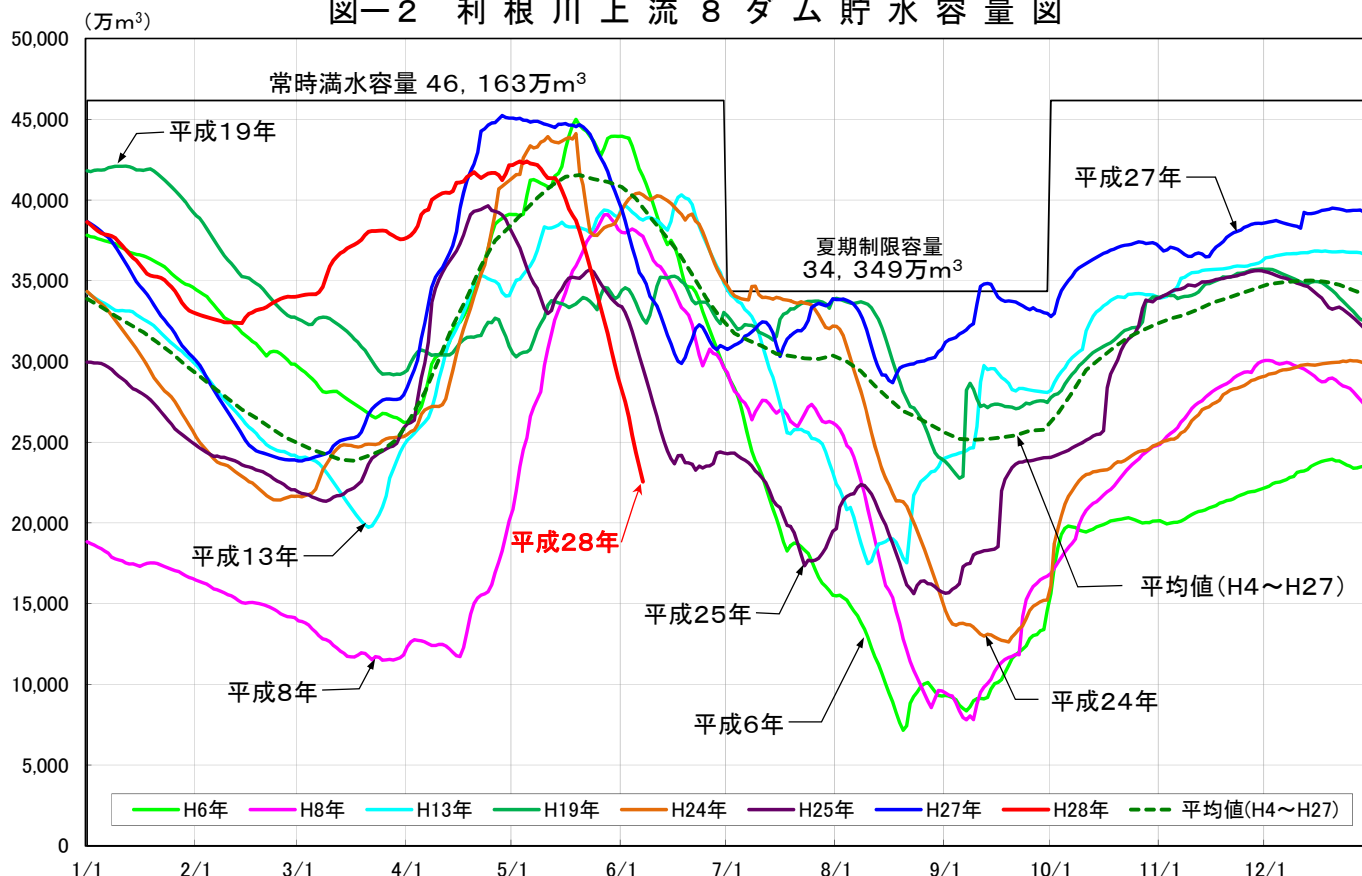
表－2 利根川上流8ダム貯水量

平成28年6月7日0時現在

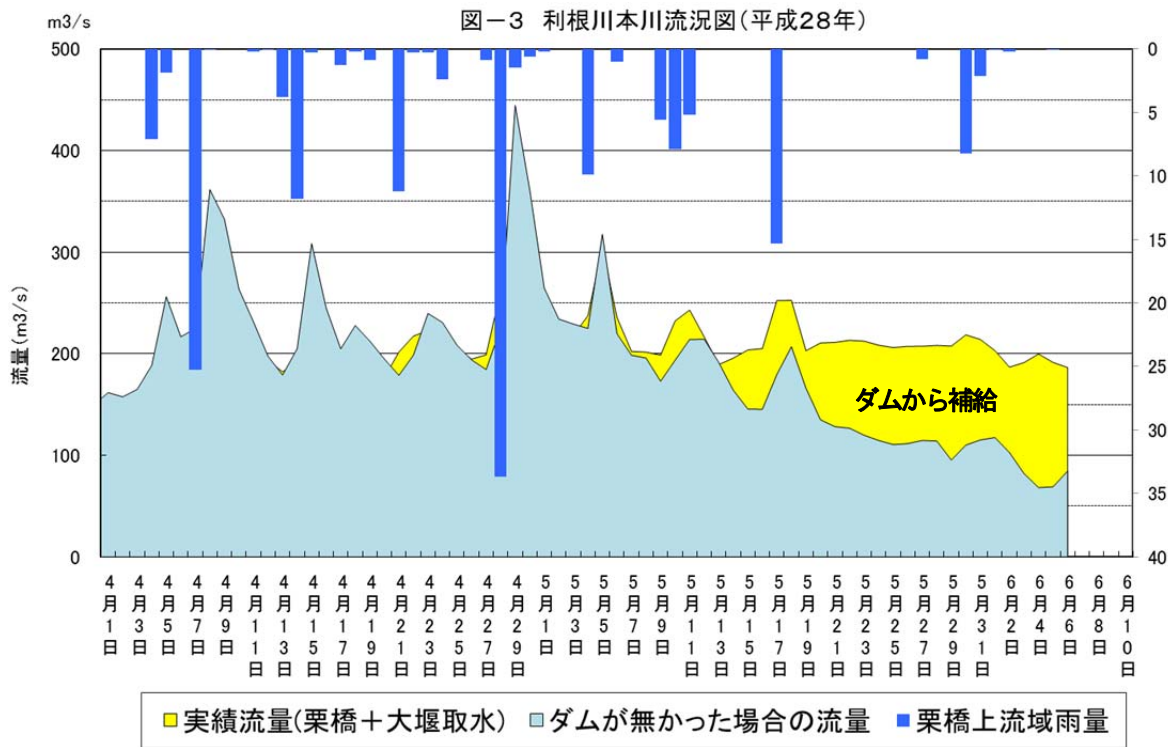
ダム名	有効容量 (万m ³)	貯水量 (万m ³)	貯水率 (%)	前日補給量 (万m ³ /日)
矢木沢ダム	11,550	2,566	22	254
奈良俣ダム	8,500	5,521	65	159
藤原ダム	3,101	1,313	42	16
相俣ダム	2,000	1,013	51	75
藺原ダム	1,322	159	12	0
下久保ダム	12,000	6,969	58	235
草木ダム	5,050	3,497	69	126
渡良瀬貯水池	2,640	1,524	58	54
8ダム合計	46,163	22,562	49	919
8ダム合計の平均値 (平成4年～平成27年)		39,503	(平均値に対する割合 57%)	

1. 有効容量は、常時満水容量。
2. 貯水率は、常時満水容量に対する貯水量の割合。
3. 前日補給量とは、前日の貯水量と本日の貯水量の差。（値が負の場合は、放流量より流入量が多く、ダムに水を貯留している状況です。値が正の場合は、流入量より放流量が多く、ダムに貯留した水を流している状況です。）

図－2 利根川上流8ダム貯水容量図

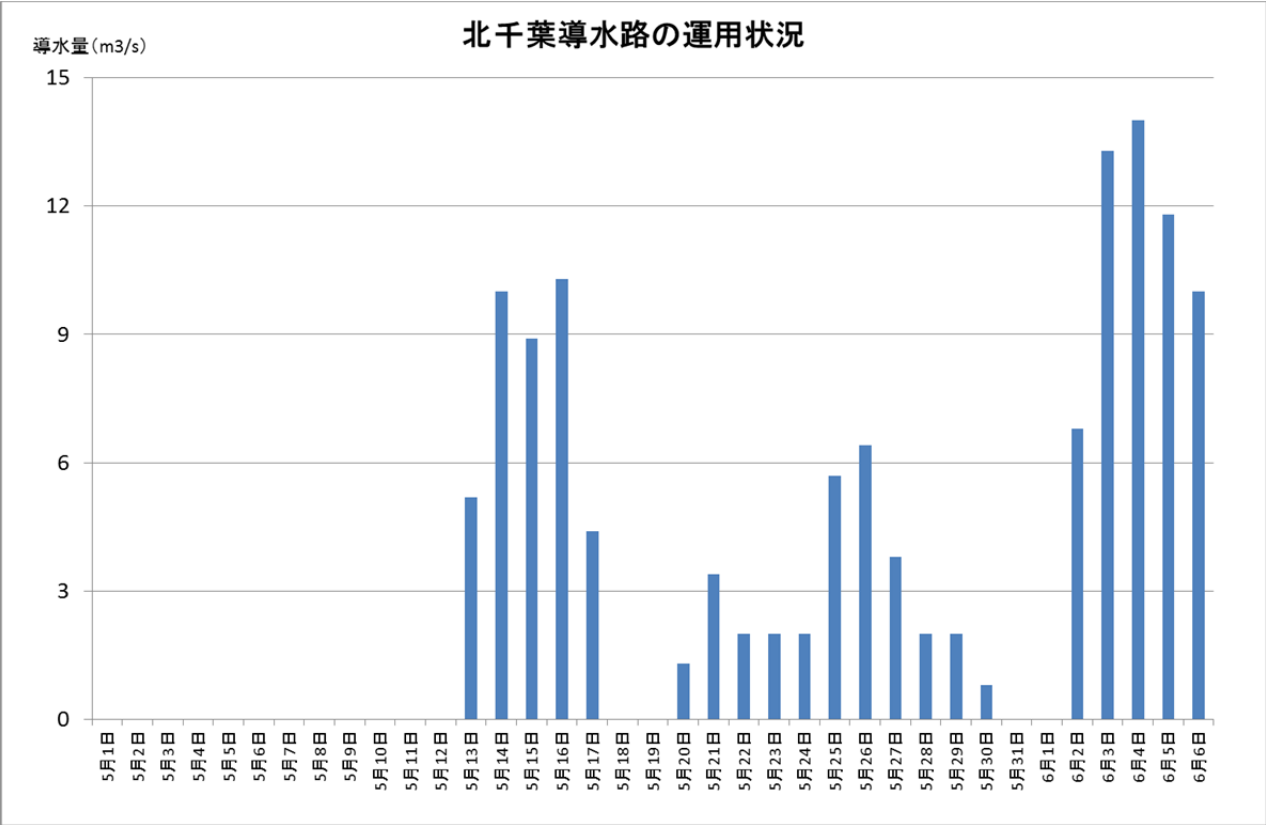


5月以降、1日当たり最大1, 136万m³／日をダムから補給してきており、利根川の流量（栗橋地点流量+利根大堰での取水量）の最大約7割をダムから補給してきております。（図－3）



(3) 北千葉導水路の活用状況

北千葉導水路は5月13日より、運用を開始し、6月6日までに最大14m³／s、総量約1, 000万m³（21日間）の導水をしています。（図－4）



2) 鬼怒川

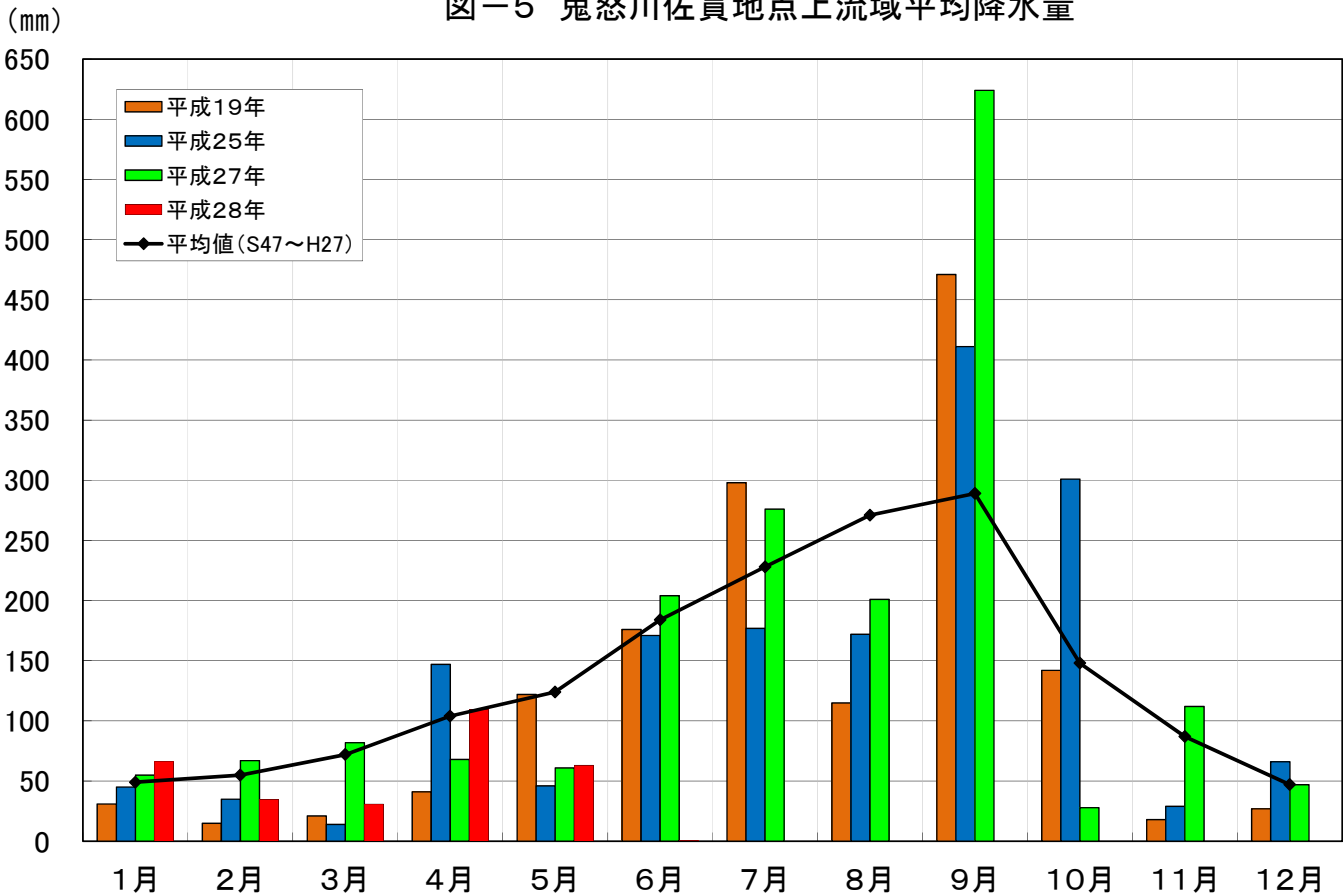
(1) 佐貫地点上流域平均降水量の状況（平成28年6月6日までの降水量）

5月の降水量は、63mm（平均値に対する割合51%。過去6番目に少ない値）となっています。

6月の降水量は、6日までの累加で1mmとなっています。（6月の降水量の平均値は184mm）

（図－5、表－3）

図－5 鬼怒川佐貫地点上流域平均降水量



表－3 鬼怒川佐貫地点上流域平均降水量（平成28年6月6日まで）

単位:(mm)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	摘 要
昭和62年	21	34	127	21	121	134	186	156	321	121	38	21	1,301	
平成2年	35	89	79	164	53	111	109	338	394	195	220	66	1,853	
平成6年	15	118	77	21	126	103	159	218	551	122	25	48	1,583	
平成8年	46	69	79	67	113	103	176	109	211	66	65	36	1,140	
平成9年	46	55	74	52	145	272	234	114	274	17	215	27	1,525	
平成13年	56	13	34	13	116	185	147	484	610	225	62	35	1,980	
平成19年	31	15	21	41	122	176	298	115	471	142	18	27	1,477	
平成24年	40	47	101	111	314	276	227	109	354	113	71	75	1,838	
平成25年	45	35	14	147	46	171	177	172	411	301	29	66	1,614	
平成27年	55	67	82	68	61	204	276	201	624	28	112	47	1,825	
平均値 (S47-H27)	49	55	72	104	124	184	228	271	289	148	87	47	1,658	
平成28年	66	35	31	109	63	1							305	
平均値に対する割合(%)	135	63	43	105	51	1							18	

※. 鬼怒川佐貫上流面積 940km2

(2) 鬼怒川上流4ダムの貯水状況等（平成28年6月7日0時現在）

鬼怒川上流4ダムは、4月中旬から補給しており、貯水量が低下しています。

6月7日0時の貯水量は1億2,885万m³であり、貯水率51%、平均値に対する割合は86%となっています。

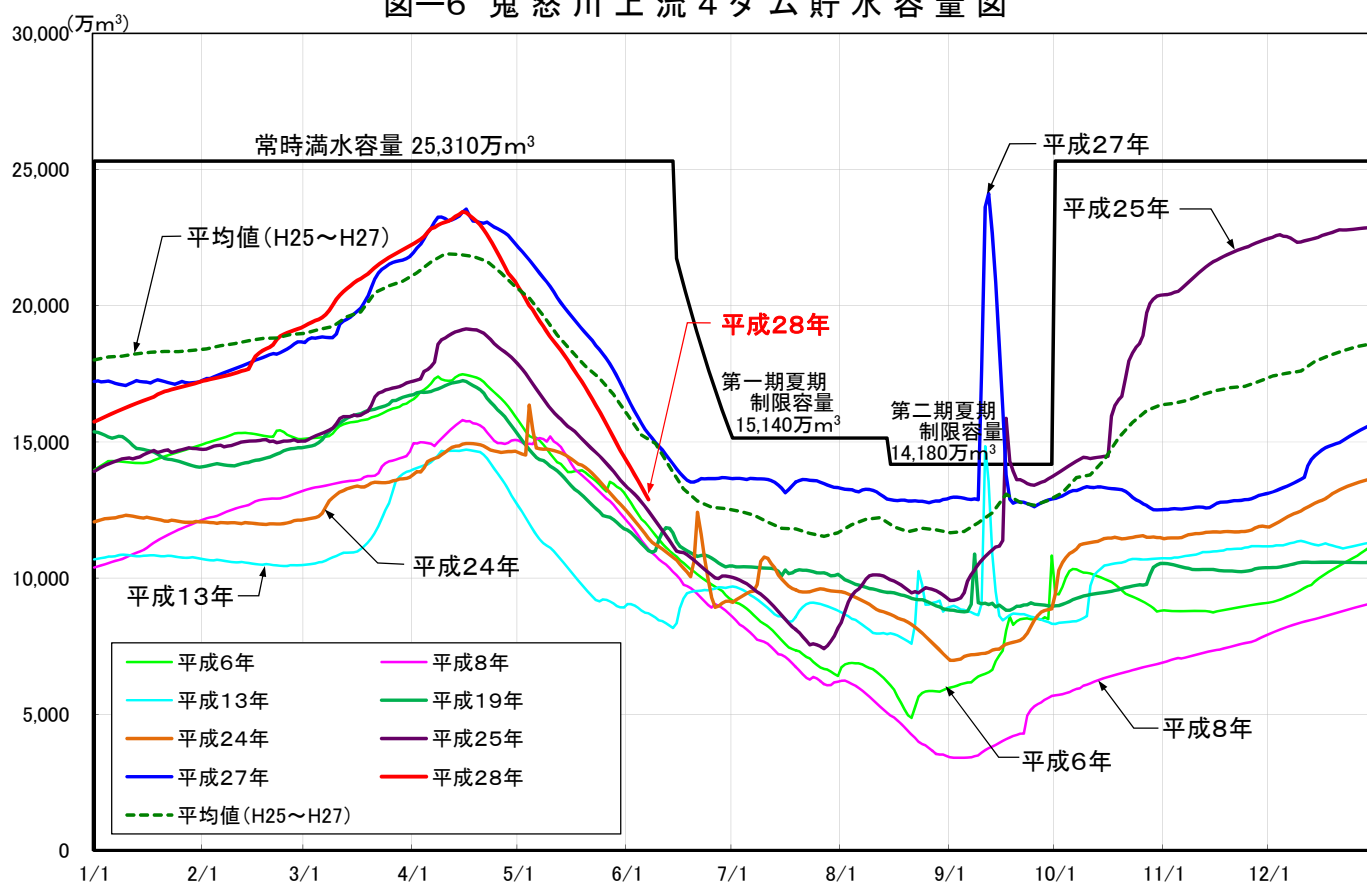
（表－4、図－6）

表－4 鬼怒川上流4ダム貯水量

平成28年6月7日0時現在				
ダム名	有効容量 (万m ³)	貯水量 (万m ³)	貯水率 (%)	前日補給量 (万m ³ /日)
五十里ダム	3,200	686	21	6
川俣ダム	7,310	5,154	71	95
川治ダム	7,600	3,222	42	104
湯西川ダム	7,200	3,823	53	31
4ダム合計	25,310	12,885	51	236
4ダム合計の平均値 (平成25年～平成27年)		14,978	(平均値に対する割合 86%)	

1. 有効容量は、常時満水容量。
2. 貯水率は、常時満水容量に対する貯水量の割合。
3. 前日補給量とは、前日の貯水量と本日の貯水量の差。（値が負の場合は、放流量より流入量が多く、ダムに水を貯留している状況です。値が正の場合は、流入量より放流量が多く、ダムに貯留した水を流している状況です。）

図－6 鬼怒川上流4ダム貯水容量図



3) 荒川水系

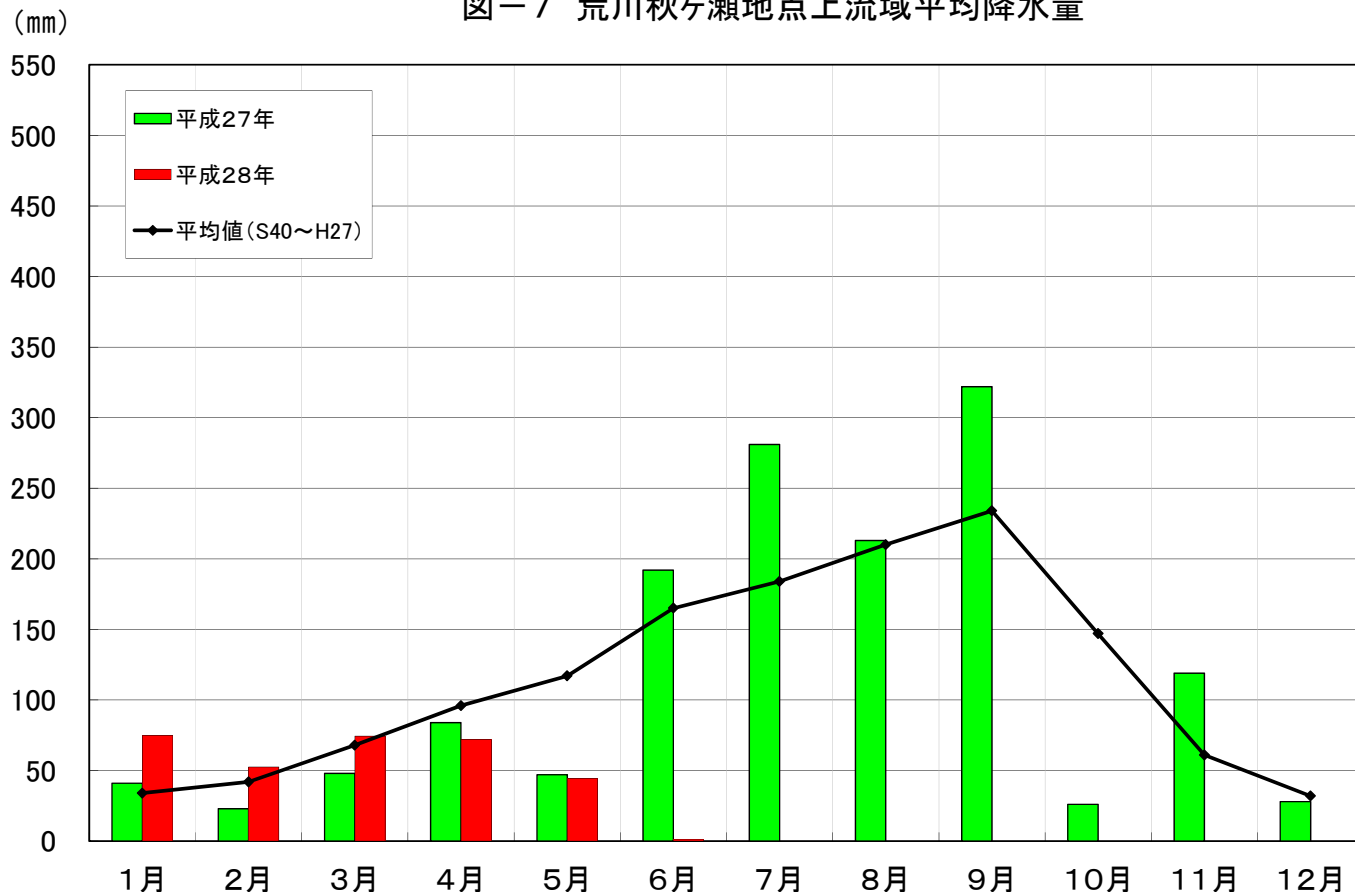
(1) 秋ヶ瀬地点上流平均降水量の状況（平成28年6月6日までの降水量）

5月の降水量は、44mm（平均値に対する割合38%。過去2番目に少ない値）となっています。

6月の降水量は、6日までの累加で1mmとなっています。（6月の降水量の平均値は165mm）

（図－7、表－5）

図－7 荒川秋ヶ瀬地点上流域平均降水量



表－5 荒川秋ヶ瀬地点上流域平均降水量（平成28年6月6日まで）

単位 (mm)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	摘要
昭和62年	16	29	66	8	66	88	146	103	280	91	46	36	975	利根川・荒川夏渇水
平成2年	22	67	83	138	48	55	77	228	473	134	301	31	1,657	利根川・荒川夏渇水
平成4年	26	15	118	136	117	250	87	177	63	285	52	29	1,355	荒川夏渇水
平成5年	82	34	37	44	76	186	275	276	204	112	113	25	1,464	荒川夏渇水
平成6年	42	44	64	25	111	103	152	142	344	119	21	24	1,191	利根川・荒川夏渇水
平成7年	24	25	111	44	129	239	177	109	180	73	24	0	1,135	荒川夏渇水
平成8年	1	22	55	62	80	47	204	32	314	74	57	17	965	利根川・荒川冬夏渇水
平成9年	21	13	57	70	187	168	148	72	204	7	87	21	1,055	利根川・荒川冬渇水
平成13年	98	17	98	30	179	120	69	279	444	247	67	9	1,657	利根川夏渇水
平成24年	36	54	93	86	257	217	102	65	245	93	54	33	1,335	利根川夏渇水
平成25年	35	18	37	152	36	172	94	77	238	327	17	46	1,249	利根川夏渇水
平成27年	41	23	48	84	47	192	281	213	322	26	119	28	1,424	
平均値 (S40~H27)	34	42	68	96	117	165	184	210	234	147	61	32	1,390	
平成28年	75	53	74	72	44	1							319	
平均値に対する割合 (%)	220	125	109	75	38	1							23	

※: 荒川取水制限実施月（一時緩和含む）

※: 秋ヶ瀬上流域面積 2,021 km²

(2) 荒川上流4ダムの貯水状況等(平成28年6月7日0時現在)

荒川上流4ダムは、5月中旬から補給しており、貯水量が低下しています。

6月7日0時の貯水量は9,277万m³であり、貯水率64%、平均値に対する割合は101%となっています。

(表-6、図-8)

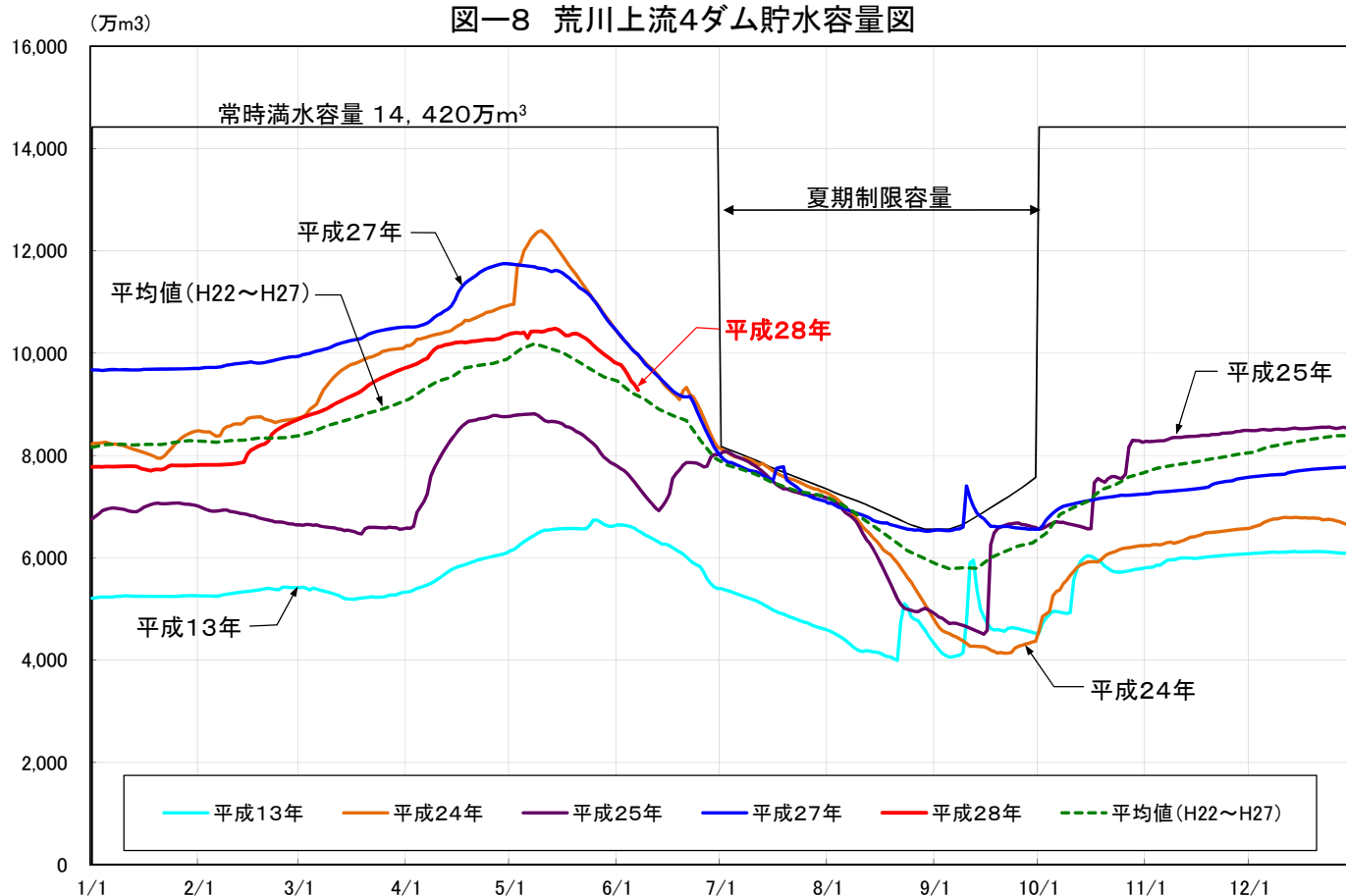
表-6 荒川上流4ダム貯水量

平成28年6月7日0時現在

ダム名	有効容量 (万m ³)	貯水量 (万m ³)	貯水率 (%)	前日補給量 (万m ³ /日)
二瀬ダム	2,000	1,541	77	4
滝沢ダム	5,800	3,702	64	69
浦山ダム	5,600	3,647	65	28
荒川貯水池	1,020	387	38	0
4ダム合計	14,420	9,277	64	101
4ダム合計の平均値 (平成22年～平成27年)		9,155	(平均値に対する割合 101%)	

1. 有効容量は、常時満水容量。
2. 貯水率は、常時満水容量に対する貯水量の割合。
3. 前日補給量とは、前日の貯水量と本日の貯水量の差。(値が負の場合は、放流量より流入量が多く、ダムに水を貯留している状況です。値が正の場合は、流入量より放流量が多く、ダムに貯留した水を流している状況です。)

図-8 荒川上流4ダム貯水容量図



4) 多摩川水系

(1) 小河内ダム地点上流域平均降水量の状況 (平成28年6月6日までの降水量)

5月の降水量は、74mm (平均値に対する割合60%) となっています。

6月の降水量は、6日までの累加で2mm となっています。(6月の降水量の平均値は182mm)

(図-9、表-7)

図-9 多摩川小河内ダム地点上流域平均降水量

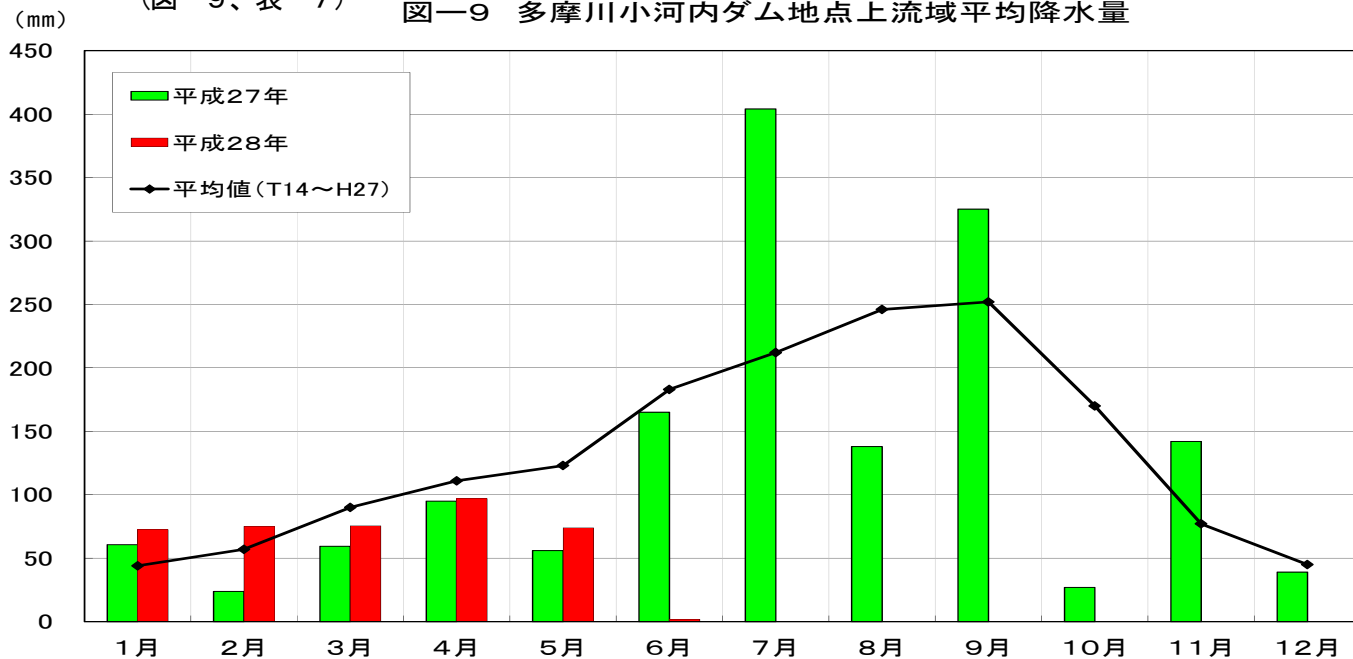


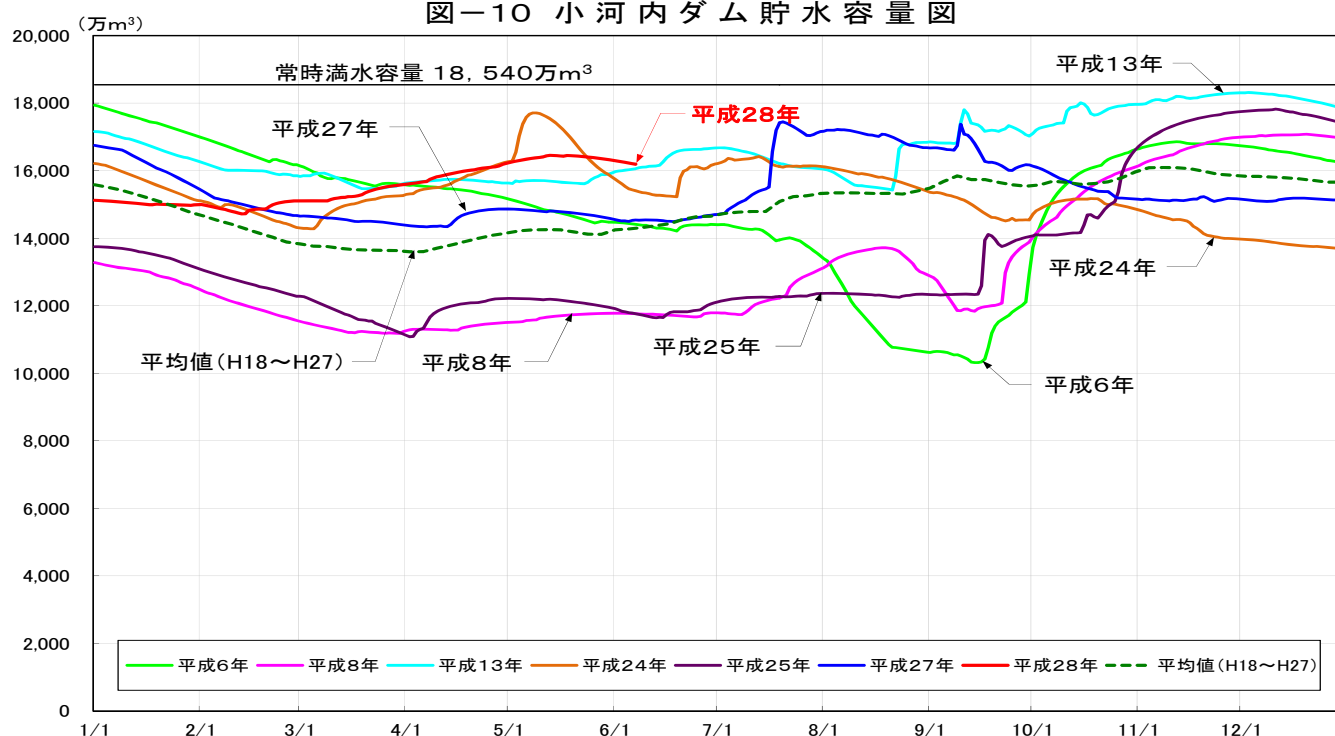
表-7 多摩川小河内ダム地点上流域平均降水量 (平成28年6月6日まで)

単位: (mm)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	摘 要
平成27年	61	24	59	95	56	165	404	138	325	27	142	39	1,535	
平均値 T14~H27	44	57	90	111	123	182	212	246	252	170	77	45	1,609	
平成28年	73	75	76	97	74	2							396	
平均値に対する割合(%)	165	132	84	87	60	1							25	

(2) 小河内ダムの貯水状況

6月7日7時現在の貯水量は、1億6,188万m³ となっています。(図-10)

図-10 小河内ダム貯水容量図



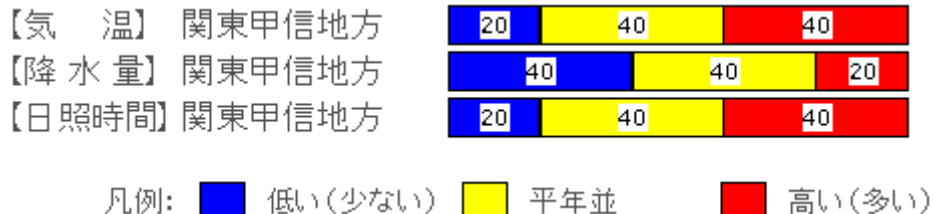
2. 今後の見通し

(1) 見通し

平成28年6月2日発表の気象庁の1か月予報によると、6月4日から7月3日の関東甲信地方の降水量については「少ない」または「平年並」となっており、「特に注意を要する事項」として、期間の前半は、降水量の少ない状態が続くところがある見込みとなっています。

また、6月3日発表の少雨に関する関東甲信地方気象情報第1号によると、今後2週間程度も、まとまった雨の降る可能性は小さく、雨の少ない状態が続く見込みとなっています。

1か月予報（平成28年6月2日発表）



<特に注意を要する事項>

期間の前半は、降水量の少ない状態が続くところがある見込みです。

少雨に関する関東甲信地方気象情報第1号（平成28年6月3日発表）

（見出し）

関東甲信地方では、5月上旬から降水量の少ない状態が続いています。この状態は、今後2週間程度は続く見込みです。農作物や水の管理等に十分に注意してください。

（本文）

関東甲信地方では、5月上旬から、高気圧に覆われて晴れる日が多く、降水量の少ない状態が続いています。5月1日から6月2日までの各地の降水量は、平年の50パーセント未満と平年を大きく下回っているところがあります。

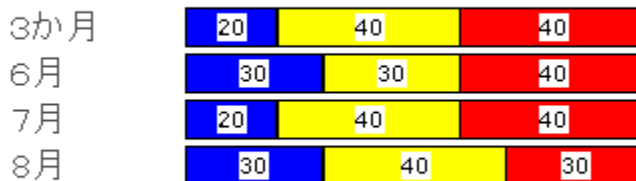
今後2週間程度も、まとまった雨の降る可能性は小さく、雨の少ない状態が続く見込みです。

農作物や水の管理等に十分に注意してください。

3か月予報（平成28年5月25日発表）

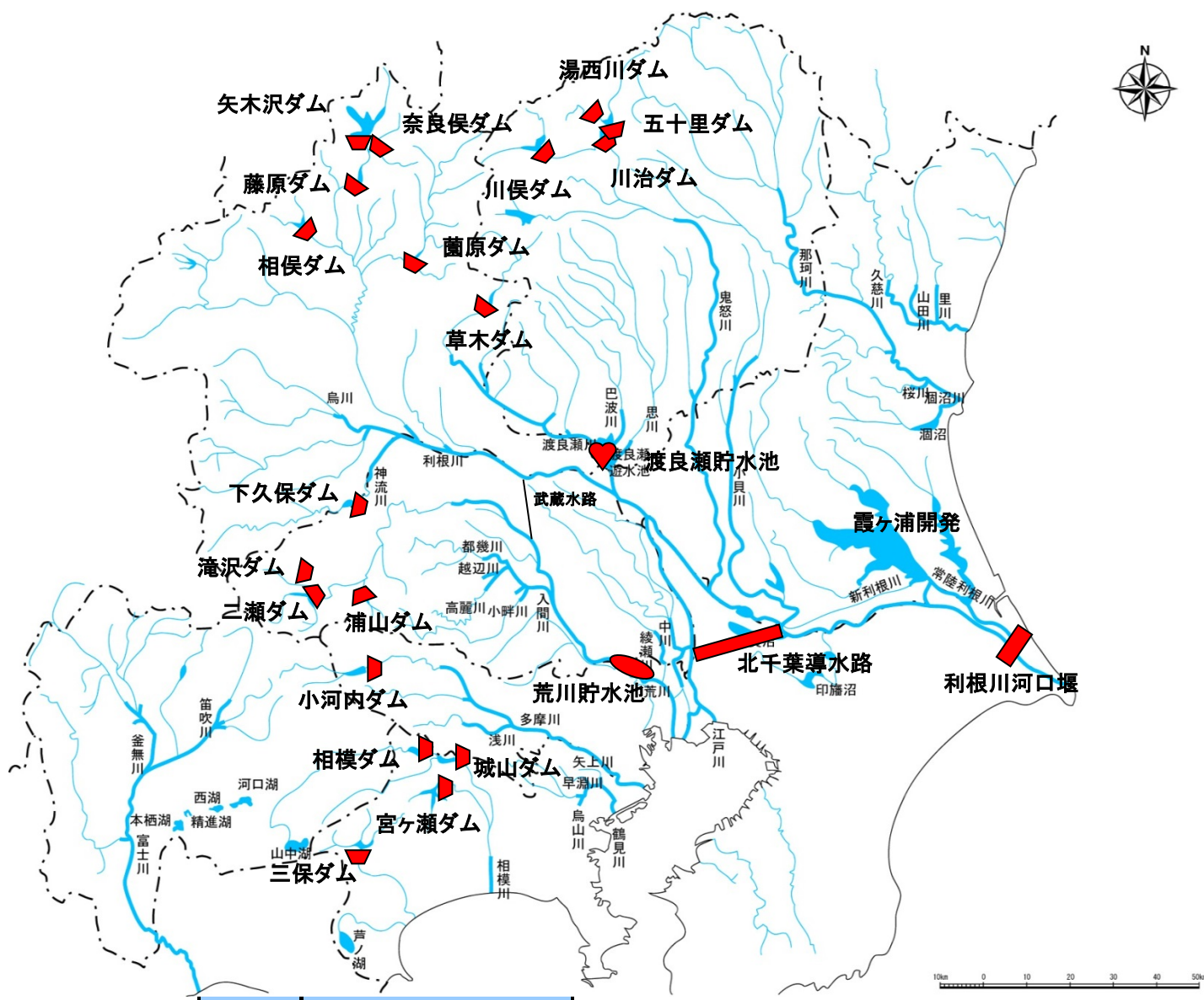
【降水量】

[関東甲信地方]



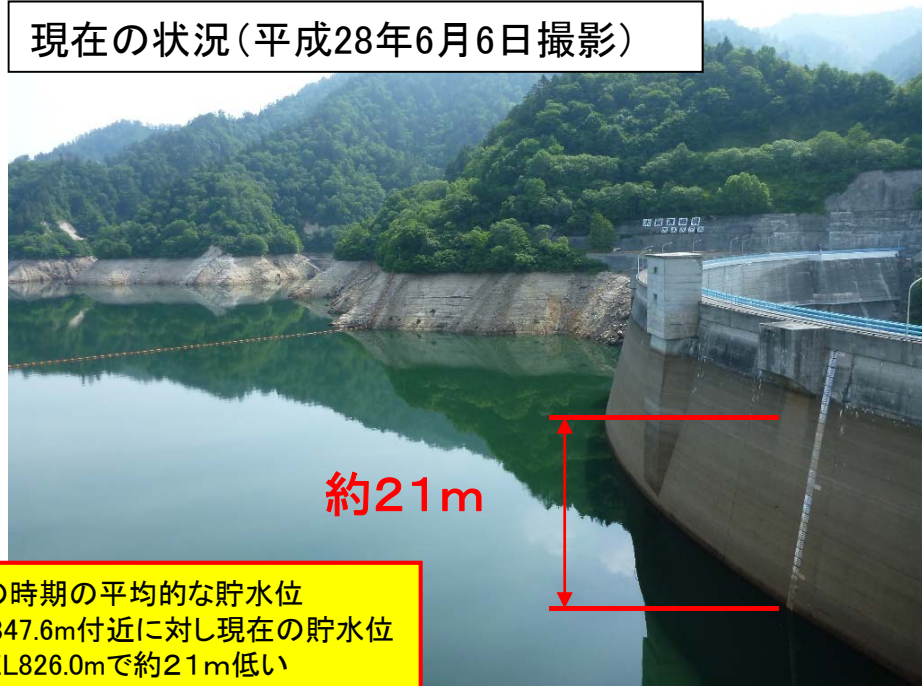
凡例: 低い(少ない) 平年並 高い(多い)

関東地方の主要な河川と水資源開発施設



貯水池の状況

現在の状況(平成28年6月6日撮影)



この時期の平均的な貯水位
EL847.6m付近に対し現在の貯水位
はEL826.0mで約21m低い

矢木沢ダム

現在の状況(平成28年6月6日撮影)



奈良俣ダム

現在の状況(平成28年6月6日撮影)



この時期の平均的な貯水位
EL641.6m付近に対し現在の貯水位
はEL631.8mで約10m低い

藤原ダム

現在の状況(平成28年6月6日撮影)



相俣ダム

貯水池の状況

現在の状況(平成28年6月6日撮影)



菌原ダム

現在の状況(平成28年6月6日撮影)



下久保ダム

現在の状況(平成28年6月6日撮影)



草木ダム

現在の状況(平成28年6月6日撮影)



渡良瀬貯水池

利根川上流 8 ダム 貯水容量 図 (平成28年6月7日現在)

